今日の学習のポイント（10月16日）

**ワシリー・カンディンスキー（1866-1944）ロシア-ドイツ-フランス**

　　抽象　　絵画の創始者。1911年にフランツ・マルクとともにドイツ表現主義のグループ　　青騎士　　を結成した。1910年に最初の抽象画を手掛け、絵画表現の歴史に新たな一歩を記している。美術理論家としても活躍した。

**アンリ・マチス（1869 - 1954）フランス**

　フォーヴィスム　　　のリーダ－的存在。形態と色彩の単純化を独自に追求し、「　色彩　の魔術師」と呼ばれた。線の単純化、色彩の純化を追求した結果、切り絵に到達し、多くの作品を残している。「人を癒やす、よい　　安楽椅子　　のような芸術をめざしたい」という言葉が有名。

**コンスタンティン・ブランクーシ（1876 - 1957）ルーマニア**

モチーフの本質をとらえるために抽象化を推し進め、非常に単純化した形態に還元した彫刻を制作し、20世紀彫刻に大きな影響を与えた。「空間の鳥」では、鳥が飛び立つ瞬間の動きまでも含めて表現し、対象の本質を追求して表現している。のちの

　ミニマル　・アート　の先駆ともされる。

**マルセル・デュシャン（1887- 1968）フランス**

ダダイスム　の作家でいわゆる「現代美術」の先駆者ともいわれる。画家として出発したが、「現在の絵画はあまりにも網膜と腕に頼りすぎている」として1914年を最後に絵画制作をやめ、　思　考　力によって生み出される知的な表現を探求した。大量生産された既製品を「芸術」として提示する　レディ・メイド　という表現形式を創始し、既存の芸術を否定した。

**ジョルジョ・デ・キリコ（1888～1978）イタリア**

　イタリア形而上絵画派の代表的な画家。無関係のものを画面に併置したり、複数の視点を画面に持ち込んだりする表現や、幻想的、神秘的な画風によって

　シュルレアリスム　　　の先駆者とされる。

**抽象絵画**

「抽象」とは、「象（　かたち　）」を「抽（　ひ　）きだす」という意味。強調や単純化を行うことで対象の本質を抽出することを抽象化というが、「抽象絵画」という場合、具体的な対象物を全く持たないか、抽象化を推し進めた結果もとの対象とは全く違う形になってしまっているものを指す。対象を全く持たない作品を「純粋抽象」という場合がある。

**フォーヴィスム**

1905年のサロン・ドートンヌに出品された一群の作品の、原色を多用した強烈な色彩と、激しいタッチを見た批評家が「あたかも　　野獣　　の檻の中にいるようだ」と評したことから命名された。ゴーギャンやゴッホの影響を受け、感覚を重視し、色彩はデッサンや構図に従属するものではなく、芸術家の主観的な感覚を表現するための道具として、自由に使われるべきであると考えた。目に映る色彩ではなく、心が感じる色彩を表現し、明るい強烈な色彩でのびのびとした雰囲気の絵画を創造した。

**ダダイスム**

1916年第一次世界大戦を避けてチューリッヒに集まった前衛芸術家たちにより創始された　　反芸術　　の運動。反美学的、反道的、反合理主義的な態度を大きな特色とし、「無意味さ」「不合理性」「不条理」を強調した新しい技法・発想を取り入れた表現により、「芸術」に対する人々の考え方を根底から覆そうとした。第一次世界大戦に対する抵抗やそれによってもたらされた虚無を根底に持っており、既成の秩序や常識に対する否定、攻撃、破壊といった思想を大きな特徴とする。